

## 様式2

## がん教育実施報告書

学校名	いわき総合高等学校
実施対象者 (学年・保護者など)	3年次
教育課程の位置づけ	体育・保健体育      道徳      学級活動・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">HR活動</span> 講演会・行事 その他（ ）
実施日時	令和 7年 11月 19日(水) 14:20 ~ 15:10
打合せについて	【1回目】方法：メール 内容：日程調整 【2回目】方法：対面 内容：テーマ、内容、配慮事項等
外部講師 職・氏名	職名 特定営利活動法人がんピアネットふくしま 理事 氏名 箭内 明美
実施内容	<p>【テーマ】がんとわたし～私のサバイバーシップ～</p> <p>1 はじめに 自己紹介</p> <p>2 ある日突然がん患者に</p> <p>3 がんピアサポートサロンとの出会い</p> <p>4 「がんピアネットふくしま」のビジョン</p> <p>5 がんを経験した私からみなさんに伝えたいこと            ①がん予防について            ②正しい情報を集めよう            ③ひとりで悩まないで            ④優しい気持ちで</p> <p>6 まとめ 今振り返って思うこと</p> 

## 成 果 等

## 【生徒の感想】

- ・がんは、健康な生活をおくっている人でもなる可能性があることや、2人に1人ががんになるということを知った。がんサバイバーの人たち同士が集まることによってお互いの心の支えになることができる場があるということも知った。これから意識して生活習慣をよくしていきたいと思ったし、もし身近な人ががんになったときの接し方も学べた。
- ・今回の講話を聞いてがんについて詳しく知ることができた。経験した人にしか分からぬ感情や経験があることを知り、その人に寄り添うことが大切だと思った。また、がん患者同士で自分の経験したことを話せる環境があることを知り、とても良いものだと感じた。
- ・がん患者に対し、かわいそう、悲しい人生を送っている、など偏見に似た同情を向けるのではなく、共感が大事だと思った。
- ・私はがんではないけれど死ぬまで付き合わなければいけない病気になり、2度の入院と手術をした事があったため自分事のように話を聞いていました。話を聞いて、がんになったからこそ得られる経験や人との繋がりがあることを知り、病気になっても色々得られる良いことがあるのだなど前向きに考えるきっかけになりました。生活習慣を見直しながら、今後も良い経験を得られるような人生を送っていきたいと思います。
- ・今日の講話を聞いて、周りががんになる、自分ががんになるという可能性の高さを改めて自覚した。もし本当にそういう時が来ても相手に負担なく接せるように努めたいと思った。そして、今へアドネーションのために頭髪を伸ばしているが、それが抗がん剤治療で髪が抜けてしまった人の役に立てばいいなと心から思った。
- ・がんになって不安になることや苦しい思い、悲しい思いをすることが多くなると思うが、それを仲間とともに共有して少しでも気持ちを和らげる場がある事を初めて知って実際にがんになった時に安心するだらうなと感じた。がんになることで失うものは多くあるけれど、がんになって不幸になるわけではないと知った。
- ・身近な人ががんになってしまった時哀れみなどの気持ちを向けるのではなく、共感することが大事ということが知れてよかったです。
- ・先生が実際にがん患者だったことで、体験したことを聞きながら様々なことを学ぶことが出来ました。実際にがんだと告げられた時の感情や心情を聞くことが出来て、私自身ががんになってしまうこともあり得るのだなという気持ちになりました。

様式2